

平成 25 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	新興国の政治と経済発展の相互作用パターンの解明
領域代表者	園部 哲史（政策研究大学院大学・政策研究科・教授）
研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、中国やインド等の新興国の政治経済の全体像を、ミクロ・マクロ・グローバルの視点から捉えようとする研究であり、世界の富と力の分布の変容を踏まえれば重要なテーマである。各計画研究の実行可能性は高く、それぞれに成果を上げることが期待できる。ただし、歴史的現象としての新興国の位置付け、現場から見る新興国の現状、新興国の成功とそれを阻む要因等を明らかにした上で、これらをどのように結びつけるかについては必ずしも明確でない。</p> <p>領域推進の計画・方法については、頻繁に研究会を開き、総括班が進捗状況を管理するという堅実な手法が採られており、概ね適切に設定されていると考えられる。一方で、異分野の交流を活発化し、成果を体系化していくために研究会以外の工夫も必要である。</p> <p>領域マネジメントについては、領域代表者の経験と実績から判断して適切に行われると期待できる。また、若手研究者育成への強い意識が看取される点は評価できる。なお、領域組織について、個別の研究を連携させる研究会に深く携わるべき総括班及び計画研究代表者に、学長と副学長が含まれている点については、領域活動に支障がないよう留意すべきである。</p>